

# 安全センター

[発行]  
 尼崎労働者安全衛生センター

[連絡先]  
 〒660-0802  
 尼崎市長洲中通 1-7-6  
 TEL・FAX 06-4950-6653

6月24日(土) 正午～  
 尼崎市中小企業センター  
 (尼崎市昭和通 2-6-68)

クボタ・ショックから 12年  
 「アスベスト被害の救済  
 と根絶を目指す尼崎集会」  
 に参加しましょう!

## 定例交流会 「ストレスチェックを実施して」

### 労働者の人権を大切に

四月二十七日、全国一般富士レジン工業支部で定例交流会を行い一二名の参加がありました。テーマは「ストレスチェックを実施して」で、昨年から五〇人以上の事業場で実施が義務付けられたストレスチェックを実施した結果や感想について交流をしました。

#### 受検率に大きな差が

このストレスチェック制度は受ける・受けないを労働者が選択できるようなっています。日本板硝子八九%、尼崎市役所八〇%から七七%の中堅企業、一方低い方では化学関連企業五二%、阪神医療生協四〇%のように、半数ぐらしか受けていない企業とがありました。九九%が受けたというすごい職場もありました。対象者との取組み意義や目的の



共有がしっかりできていたか、受検結果によって不利益を被ることが決してない仕組みを安全衛生委員会で審議、公開、伝達されていたか。受検者が多いか・少ないかで良い悪しの判断はできませんが、交流会ではまず受検率に大きな差があることが確認されました。

#### 制度をどう活かすか

高ストレス者率は尼崎市役所三%、日本板硝子四%、以下七%、一三%、三八%などと、残業時間や仕事の波の影響か、こちらも企業によつて大きな差がありました。

但し産業医の面談の実施はほとんど行われておらず、また部署別の高ストレス者割合を出して、いないので、具体的・個別的な改善は非

### 歌いましたか？聞け万国の労働者

1920年、日本で最初のメーデーが開かれた際に、池貝鉄工の労働者だった大場勇が作詞して作られたメーデー歌「聞け万国の労働者」。労働歌の定番というべきこの曲を私がはじめて聞いたのは、大学生の頃、SOUL FLOWER MONONOKE SUMMIT (ソウル・フラワー・モノノケ・サミット) のアルバム『アジュール・チンドン』を通じてでした。

私が大学を卒業して社会に出る頃は、ちょうど「就職氷河期」の真っ最中。小泉政権の新自由主義政策を人々が支持する中、私の周囲は「何十社受けても、百社受けても、内定など一つもない」のが当たり前で、やっと就職できても労働者使い捨ての職場や不安定な非正規雇用が待っている、という出口のない状況でした。まさに、この社会が若者をぼろ雑巾のように扱っていることを実感しました。その中で、チンドン太鼓にのせて力強く歌われる「汝の部署を放棄せよ／汝の価値に目覚むべし／全一日の休業は／社会の虚偽をうつものぞ」という歌詞が、心の奥底に響いてきたことを憶えています。

「聞け万国の労働者」が生まれてからまもなく100年が経ちます。しかし、労働者が使い捨てにされて苦しむ状況は何も変わっていません。人々の尊厳と生活が踏みにじられる社会において、この歌は依然として必要であり、今も決して古びていないと思います。

天野 理 (「安全と健康」、東京労働安全衛生センター)

常に難しい状況となつています。受検した管理者や労働者の不利益にならないようにするための仕組み(例えば部署の非特定)が曖昧さを作り出し、あまり実施意義が見出せない取組みとなつていると言えそうです。しかし取組み意義を感じるという労働組合もあり、メンタルヘルス不調が起こらない職場づくりを目指してどのように活かしていくかという前向きな意見もありました。

#### 労働者の人権を大切に

メンタルヘルス不調労災が社会問題化する中、安全衛生改善を目的としてこのような制度が義務化されました。しかし改めての取組みと言うよりはこれまで安全センターで取組んできたあらゆる労災問題と同様に「労働者の人権を守れていない」こ

とが最大の問題点なのではないでしょうか。労働者は労働者である以前にひとであり、生活者です。命や健康と引き換えに労働しているわけはありません。労働災害の撲滅は労働者の人としての権利を守ることになるのです。

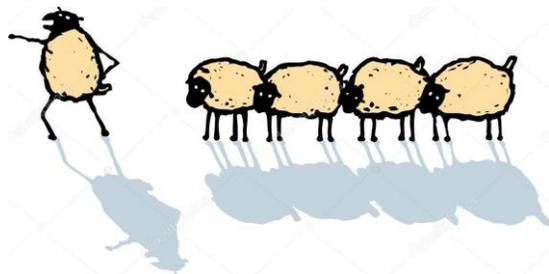
労働組合はこの労働者の人権を大切に職場づくりを進めましょう。そのためにもまず組合員の声に耳を傾け、小さな声を見捨てず相談に乗り、解決に向けて取組む中で信頼と団結が生まれます。組合員から相談はありますか？「労働組合があつて良かった。組合員で良かった。」と実感されていますか？今、労働組合は非常に厳しい状況にあります。間違いなく労働組合は労働者にとつての最大の力のはずです。しっかりと前を向いて取組みましょう。

# 労働組合のリーダーの仕事は 働くなかまを守ること！

昨年一〇月三二日に、組合員である高橋まつりさんが過労死で労災認定されたことを受けて、電通の労働組合の加盟する広告労協が「**広告業界の長時間労働についての所感**」を発表しました。声明文とか抗議文とかでなく、「所感」、つまり自分たちのなかまの自死についての感想といったことなのでしょう。引用してみます。

「株式会社電通に二〇一五年に入社された新入社員女性の自死が先月末に過労自死として労災認定されました。その後、連日のように長時間労働問題についてメディアで報道されています。広告業界で働く人々のより良い

環境作りには日々取り組んでいる広告労協としても、今回の件は誠に残念でなりません。広告労協に加盟している単協各社も、会社の規模や専門分野によって様々な制度が採用されています。たとえば電通に見られる三六協定による時間管理、あるいはADKやオリコムが導入している裁量労働制などがあります。



広告会社は、クライアントとメディア・消費者をつなぎ、斬新な発想や、アイデアを生み出す、という命題の中で、社会のIT化、メディアの多様化、広告効果効率の厳密化などにより業務量が激増しています。環境変化のスピードに会社も対応できず、業務はより専門的、複雑化して現場社員の一人一人に負荷がかかっている状況もあります。

業界の過渡期といえるかもしれませんが、私たち現場で働く人々の生活が充実してこそ、この難局を乗り越えられるのではないのでしょうか。

私たち広告労協は、引き続き広告業界で働く人々のためのより良い環境を作る活動を続けていきたいと思えます。」

## 「所感」は誰が書いたか

高橋まつりさんという名前を持った二四歳の労働者への追悼の思い、なかまを失った悔しさ、なかまを守ることでできなかった労働組合として

## 2017.3.14 朝日新聞 電通で過労自殺した 高橋まつりさんの母

広告大手、電通の新入社員で過労自殺した高橋まつりさん(当時24)の母、幸美さん(54)は13日、残業時間の上限規制についてコメントを出した。全文は次の通り。

月100時間残業を認めることに、強く反対します

政府の働き方改革として、一か月100時間、2か月平均80時間残業を上限とする案が出されていますが、私は、過労死遺族の一人として強く反対します。

このような長時間労働は健康にきわめて有害なことを、政府や厚生労働省も知っているにもかかわらず、なぜ、法律で認めようとするのでしょうか。全く納得できません。

月100時間働けば経済成長すると思っているとしたら、大きな間違いです。人間は、コンピューターでもロボットでもマシンでもありません。長時間働くと、疲れて効率も悪くなり、健康をそこない、ついには命まで奪われるのです。

人間のいのちと健康にかかわるルールに、このような特例が認められていいはずがありません。繁忙期であれば、命を落としてもよいのでしょうか。

命を落としたり、お金を出せばよいとでもいうのでしょうか。

娘のように仕事の原因で亡くなった多くの人たちがいます。死んでからでは取り返しがつかないのです。

どうか、よろしく願いいたします。

## 3・11 福島原発事故 はや6年

100万人に多くて3人程度という子ども(事故時18歳以下)の甲状腺がん。福島では対象38万人で185人が疑い。内145人が手術ですでに診断確定。これを放射線被曝のせいと考えないでどう説明できるのか? 1巡目でこれまでになく多数検査したから? とすると、検査しつくした2巡目の多数発生は? 1巡目も2巡目も数10倍の発生だ。念のために事故被曝以後に生まれた子供の検査も実施すればよい。

これに反対する疫学者がいるのか?

子どもの甲状腺検査は千葉県松戸、柏、我孫子、野田、鎌ヶ谷市でも実施されている。



## 労働者の

### 自民党支持最多とは

一昔前には労働組合(総評)と言ふとやっぱり当時の社会党支持という感じでした。しかし今は自民党支持が多いかも。神津連合会長の出身母体労組では、自民支持が最多という報道。「鉄鋼、造船重機、非鉄、建設などの産業別労組『基幹労連』の組合員を対象にした昨春のアンケートで、自民党への支持率が初めて民進党(旧民主党)を上回っていたことが分かった。」(一七・二・九毎日)

民進党支持が一八%に対して自民党持が二三%。働く者の利益を代表すると言う看板がその通りじゃないことになったら、弱者は権力者を頼りにしてしまいます。たしかに安倍首相は企業に賃上げを呼びかけていますが、もう一方で労働者を限りなく残業代ゼロの自営業者並みに追い込んで、日本を世界一企業が活動しやすい国にするとお金持ちたちに宣言しているのです。やっぱり労働者たるものなかまを求めて自分の足で立つしかありません。

偉い人には決して媚びず(付度せず)、隣の人には優しく、生きていきましょう!